

新潟県立 がんセンター新潟病院

Niigata Cancer Center Hospital 2025年 臨床研修医募集案内



ホームページ : <https://www.niigata-cc.jp/>
〒951-8566 新潟市中央区川岸町2丁目15番地3
新潟県立がんセンター新潟病院 庶務課
電話 : 025-266-5111 (代表) 内線2307
FAX : 025-266-5112
Mail : kensyu@niigata-cc.jp



医師としての生活を当院で始めてみませんか？

日本では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡すると言われています。

当院では多くの方が経験するがんの専門病院として「全ての患者さんに最善のがん医療を提供する」を基本理念にし、最先端の医療技術はもちろん、患者さんの身体的、社会的、心理的な面までも包括する全人的な医療を提供するため、診断～治療～治療後を通して困難な病態と対峙する患者さんの課題に多くの部門が関わる「チーム医療」を大切にしています。

初期臨床研修では、都道府県がん診療連携拠点病院として多くの症例を有するなか、がん専門病院ならではの特徴ある診療科をより厚く学んでいただける複数の重点コースを設置しました。救急等の必修科目に関しては、多様性に富んだ臨床研修病院群から研修先を選択していただくことが可能です。

また、当院とは立地や特徴の異なる県外都市部の総合病院とたすき掛けプログラムを設置し、研鑽の選択肢を広げています。

“がん”を切り口に、全人的なチーム医療を学び実践しながら、医師としての礎を築いていきませんか？

皆さんが当院を選択し、患者さんのためにチームの一員として参加してくれることを心から期待しています。



院長 田中 洋史

病院概要 ～がんの診療と研究に重点をおき、総合的診療機能も完備した病院～

○開設者名 新潟県 ○病院長名 田中 洋史

○標榜診療科目

内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、婦人科、頭頸部外科、リハビリテーション科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、精神科、病理診断科、緩和ケア内科

○使用許可病床数 404床 ○一日平均入院患者数 294.6人 ○一日平均外来患者数 911.1人
○医師数 常勤96人 非常勤4.7人 ○年間手術件数 4,800件 ○病院併設施設 無 ○救急告示病院の指定 有

○学会指定施設の状況

JCOG（胃がんグループ）参加施設、JCOG（食道がんグループ）参加施設、JCOG（肺がん外科グループ）参加施設、JCOG（乳がんグループ）参加施設、JCOG（皮膚腫瘍グループ）参加施設、JCOG（肺がん内科グループ）参加施設、呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度基幹施設、日本骨髄バンク（骨髄移植推進財団）非血縁者間骨髄採取認定施設・非血縁者間骨髄移植認定施設、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関、日本医療機能評価機構認定、日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設認定、日本インターベンショナルラジオロジー学会（日本IVR学会）専門医修練施設、日本核医学会専門医教育病院、日本眼科学会研修施設、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本外科学会外科専門医 制度修練施設、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設、日本消化器外科学会専門医 修練施設、日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設、日本整形外科学会認定医制度研修施設、日本胆道学会認定指導医制度指導施設、日本内科学会認定 医制度教育病院、日本乳癌学会認定施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本病院薬剤師会がん専門薬剤師研修事業暫定認定研修施設、日本病理学会研修認定施設B、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設、日本麻酔科学会認定病院、日本輸血・細胞治療学会指定研修施設、日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設、日本輸血・細胞治療学会I & A 認証施設、日本臨床衛生検査技師会精度保証施設、日本臨床細胞学会施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本食道学会食道外科専門医認定施設、日本小児血液学会、日本小児がん学会小児血液・小児がん専門医研修施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設、日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連施設、日本超音波医学会研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本大腸肛門病学会認定施設、NCD施設 など

○当院在籍の指導医・専門医

日本病理学会病理指導医、日本消化器外科学会指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本脾臓学会認定指導医、日本胸部外科学会指導医、頭頸部がん指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、小児血液がん学会指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医、乳腺外科専門医、食道外科専門医、内視鏡外科技術認定医、放射線治療専門医、がん治療認定医、緩和医療専門医、ペインクリニック専門医、脳神経外科専門医、臨床遺伝専門医、核医学専門医、IVR専門医 など

○ACCESS

- 【電 車】JR越後線「白山駅（新潟駅から一駅）」下車 徒歩1分
- 【高速バス】新潟行「がんセンター前」下車
- 【市内バス】新潟駅前、万代シテイ、古町、市役所、青山方面より BRT萬代橋ライン「白山駅前」下車 徒歩3分
新潟駅南口、上所、近江、出来島方面より C1県庁線「がんセンター前」下車
新潟大学病院より S1市民病院線「がんセンター前」下車

研修概要① ～多様性に富んだ臨床研修病院群～

○臨床研修プログラムモデルケース

1 年 目	内科 24週□		麻酔科 4週	外科 8週	救急 12週	小児科 4週
2 年 目	産婦人科 4週	精神科 4週	一般外来20日 一般内科 6週	地域医療 4週	自由選択 34週	

新潟県立がんセンター新潟病院で研修
協力病院・施設で研修

例【救急、産婦人科、小児科、精神科】魚沼基幹病院【一般】県立十日町病院【地域】県立松代病院

○必修科目協力病院 ※ご希望を考慮し研修先を調整します

【救急】新潟市民病院、長岡赤十字病院、県立新発田病院、県立中央病院、長岡中央総合病院、柏崎総合医療センター、村上総合病院、県央基幹病院、県立十日町病院、上越総合病院、魚沼基幹病院【産婦人科、小児科】済生会新潟病院、長岡赤十字病院、県立新発田病院、県立中央病院、長岡中央総合病院、柏崎総合医療センター、村上総合病院、上越総合病院、魚沼基幹病院、県立吉田病院(小児のみ)、県立十日町病院(小児のみ)【精神科】県立新発田病院、河渡病院、魚沼基幹病院【一般】県央基幹病院、県立十日町病院、小千谷総合病院、坂井輪診療所、ときわ診療所、舟江診療所【地域】県立松代病院、県立津川病院、坂井輪診療所、ときわ診療所、舟江診療所

○「県外×新潟」「一般×専門」のたすきがけ

1年目(40週程度)を連携病院で救急など必修科目を学び、その後当院での研修に移るローテーションも可能です。

【連携病院】岸和田徳洲会病院、福岡徳洲会病院

研修概要② ～エキスパートと協働する、がん専門病院ならではの「重点コース」～

当院では、がん治療の4つの柱である「手術療法」「放射線治療」「薬物療法」「緩和療法」において、全ての治療でエキスパートが揃っており、複数のエキスパートが共同、協調し、それぞれの治療の特徴を活かした最善の集学的治療を提供できるように努力しています。

臨床研修プログラムでは「がん専門病院」の特徴を活かした次の重点コースを用意しています。

がん薬物療法・周術期重点コース

- ・外来化学療法をベースにがん薬物療法専門医など関係専門職と共同して診療にあたり、がん薬物療法の基礎を身につけ、標準的な治療を実践することができます。
- ・高齢者症例や合併症を有するがん症例の手術治療、周術期管理に数多く参画するとともに、術前・術後のプライマリーケアにつながる課題を実践的に学ぶことができます。

緩和ケア重点コース

- ・診断早期から積極的抗がん治療と緩和ケアを並行し、最終末期においても主治医チームとの協働が重要との考えのもと、様々な苦痛をもつ患者を診察し、諸症状を理論的に診断のうえ、QOL維持のための初歩的な医学技術、処置、コミュニケーションスキルを学ぶことができます。
- ・研修後期で緩和ケア科8週が必修科目です。

総合消化器内科・基本手技(内視鏡・超音波等)アドバンスコース

- ・がんの診療はもとより、プライマリーケアにおいても重要な「消化器内視鏡検査」等について、豊富な症例数と経験豊かな指導医のもと、手技を身につけることを目標として重点的に学ぶことができます。
- ・研修後期で内科(消化器)8週が必修科目です。

放射線 画像診断・治療重点コース

- ・がんの診療において極めて重要な「放射線画像診断」について、当院が行うCT、MRI、アイソトープ検査及びPET-CTなど多様な画像を用いて検査適応を適切に判断するための基礎を学ぶことができます。
- ・様々な放射線治療を豊富に学ぶことができます。
- ・研修後期で放射線科8週が必修科目です。

研修概要② ～産業医資格を初期臨床研修期間に取得する「産業医取得・臨床研修コース」～

産業医ニーズの上昇に伴い、令和7年度から初期研修期間中に産業医資格を取得できるコースを新設しました。2年目に、医師会での実地研修や新潟県庁でのインターンを含む選択科目「保健医療行政」を4週間研修し、日医認定産業医資格申請に必要な50単位を取得します。

【連携施設】新潟県庁

募集定員及び待遇など

○募集定員

プログラム番号	プログラム名	定員
030304808	新潟県立がんセンター新潟病院臨床研修プログラム	2名
030304809	新潟県立がんセンター新潟病院臨床研修プログラム がん薬物療養・周期重点コース	1名
030304810	新潟県立がんセンター新潟病院臨床研修プログラム 緩和ケア重点コース	1名
030304811	新潟県立がんセンター新潟病院臨床研修プログラム 総合消化器内科・基本手技 (内視鏡・超音波等) アドバンスコース	1名
030304812	新潟県立がんセンター新潟病院臨床研修プログラム 放射線画像診断・治療重点コース	1名
030304813	新潟県立がんセンター新潟病院臨床研修プログラム 産業医取得・臨床研修コース	2名

※募集定員には、新潟県が設置する「イノベーター育成臨床研修コース」の募集(2名)を含みます。

○選考方法

当院に於いて随時面接を行います。

○給与(2023年度研修医)

1年次：基本給350,000円他、時間外勤務手当、住居手当等を合わせて **月額平均497,000円**
2年次：基本給400,000円他、時間外勤務手当、住居手当等を合わせて **月額平均557,000円**

○宿舎

当院が契約する住居 例：通勤徒歩5分、築12年駐車場付き1LDKアパート月額73,000円（自己負担36,040円）

○勤務体制

勤務時間：8時30分～17時15分 ※日直勤務も同様の時間

当直勤務：17時15分～8時30分 ※研修医の当直回数は平均月3回、研修医以外の指導医師1名と勤務

○休暇制度

有給：年次休暇（1年目10日）、忌引休暇、結婚休暇（5日）、産前産後休暇、妻の出産（2日）他

指導医からみなさまへ



研修病院を選択する際のポイントの一つに、プライマリーケアや救急医療の研修機会があることが挙げられています。がんは、慢性疾患のイメージが強いですが、その発症から診断に至るまで、あるいは病状の急激な変化時などに急性疾患の様相を呈することも少なくなりません。また、様々な併存症をもった患者さんが多く、まさに全人的な医療が必要とされています。当然ながら、一人の医師だけの対応には限界があり、看護師、薬剤師、放射線技師、リハビリ技師、医療ソーシャルワーカーなどを含めた診療科横断的なチーム医療体制の充実が不可欠です。日々の研修の中で、チーム医療に実際に参加しながら、“がん”を通して多くのことを学ぶことができると思います。

副院長・臨床研修担当 小林 正明

日本では2人に1人ががんにかかると言われるなか、今後の医療においてがん診療は欠かせないものであり、その経験と知識は必須であると思います。当院の手術療法では腹腔鏡手術に代表される最先端の鏡視下手術も導入しており、臨床研修においても指導を行っています。薬物療法ではPrecision Medicineを念頭に置いた遺伝子検査(ゲノム検査)を促進しており、新規抗がん剤などに対する知識も広く得ることが可能です。また、緩和ケア病棟を持つ都道府県がん診療連携拠点病院の中で、研修を受け入れている数少ない病院のひとつです。将来、がん診療を志す医師のみでなく、臨床医としてのあり方を真剣に考え医師としての基盤を築くには、最良の場です。

副院長・がんゲノム医療センター長 中川 悟



○病院見学について

随時受け付けておりますので、興味のある方は是非一度当院へお越しください！

申込方法：①氏名（ふりがな）、②性別、③学校名・学年、④見学希望診療科、⑤見学希望日、⑥携帯電話番号をメール本文に記入のうえ、下記の問い合わせ先へ送付してください。

○お問い合わせについて

電話：025-266-5111（代表番号）内線2307 担当：庶務課

Mail：kensyu@niigata-cc.jp